

川崎市議会議長 松原成文様

羽田増便による低空飛行ルートに反対する川崎区民の会

川崎市川崎区殿町1-11-15

松本晴夫

**相次ぐ落下事故を踏まえ、住宅地と石油コンビナート上空を低空飛行させる
危険の羽田空港新飛行ルート案の撤回を求める意見書提出を求める請願**

〈請願要旨〉

国は、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けて羽田空港の機能の強化を目的に国際線増便の方針を掲げ、南風時にB滑走路を使用して川崎区殿町方面に離陸する新たな飛行ルートの変更を検討しています。

しかし、その飛行ルートは、臨海部の石油コンビナート上空を低空で通過するものになっています。

2017年9月23日大阪、4日後の27日茨城と相次いで飛行機のパネルが落下する事故が起きました。どんなに飛行機の安全性が高くなっているといっても決して侮れないことを示しています。

そもそも臨海部石油コンビナート上空への飛行は、1970年国から川崎市長へ「東京国際空港に離着陸する航空機は、原則として川崎石油コンビナート地域上空を避け、適切な飛行コースをとらせることに加え、それ以外の航空機について3,000フィート以下での飛行は行わせないこと」とする回答を示し、飛行制限してきました。ところがそのルールを破って、殿町方面に離陸し、臨海部石油コンビナート上空を低空飛行で飛ぶ計画になっています。

よって川崎市議会として国に対し、臨海部石油コンビナート上空を低空飛行する羽田空港新飛行ルート案については、撤回するよう強く求めてください。

〈請願項目〉

住宅地と臨海部石油コンビナート上空を低空飛行させる危険な羽田空港新飛行ルートと案を撤回するように、国に対して意見書を提出してください。

氏名	住所